

**2021年2月19日現在**

核兵器禁止条約署名国数：86カ国  
批准国数：54カ国

---

「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書決議」

**2021年4月3日現在：**

全国：556自治体  
県内：9自治体  
石岡市、筑西市、かすみがうら市、土浦市、取手市、つくばみらい市、常陸大宮市、守谷市、大洗町

**批准要請署名数：3,808筆**

**平和行進ブロック長等の  
会議開催します**  
4月18日(日)13:30~  
見和市民センター会議室

県内各ブロックで、今年の国民平和大行進の実行委員会が取り組まれております。当日は、加盟団体代表、常任理事の方々の参加をお願いいたします。

昨年から続くコロナは衰えを見せませんが、今年は何んとしても行進を成功させ、各自治体の議会から日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を迫る意見書を上げてもらえるよう、働きかけて行こうではありませんか。

それぞれの地域での経験や取り組みなど、参考にしたいと思います。何卒、忌憚のない積極的なご意見をお願い致します。

**平和行進準備着々  
各地のブロック会議進む！**

- 県ブロック責任者会議の進め方(参考)**
1. コース責任者の確認
  2. 各地域のスタンディングなどのパフォーマンス(数回、庁舎訪問、呼びかけ文の要請、首長との懇談)
  3. 各地域の宣伝カーの運行と任務分担(運転手、コース責任者、記録者)の把握
  4. 日本政府に核兵器禁止条約の署名の各地域団体の目標確認
  5. 批准を求める意見書採択養成提出  
新たにかすみがうら市採択(3/24)、8市1町になった。

**「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める」新聞広告募集しています。**

この運動を進めるため、原水協は新聞意見広告(7月7日朝刊掲載予定)を提起しています。

賛同募金は団体・個人1口1,000円(何口でも)です。

応募方法は、配布のチラシにある払込用紙で、郵便局から送金してください。連名で応募の時は、募金者へのお礼のため、名簿を、**必ず**茨城県原水協にFAXまたは、メールで送ってください。

原水爆禁止茨城県協議会  
住所：〒310-0912 茨城県水戸市見川5-127-281  
Tel&Fax:029-251-9919 E-Mail:mkato@themis.ocn.ne.jp

~~~~~

**学ぼう！禁止条約 交流しよう！草の根運動**

**核兵器禁止条約の第一人者ハイノッチ大使が講演します！**

**アジアヨーロッパ人民フォーラム主催 ウェビナー**

**テーマ 核兵器禁止条約(TPNW)と草の根運動**

**日時 4月16日(金) 日本時間 17:00-19:00**

**日英同時通訳付き：参加費無料**

\*参加をご希望の方は件名に「0416参加希望」とご記入の上、[antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com)にメールをお送りください。


ヨーロッパにはイギリス、フランスの核武装国があり、米国の核兵器やミサイル防衛システムがNATO加盟国に配備され、ロシアと対峙しています。

アジア太平洋地域は、中国、ロシア、アメリカなどの核保有国に囲まれています。また、インド、パキスタン、北朝鮮もあります。米中の覇権主義的な対立や米国の同盟国を巻き込んだ軍事的緊張の高まり、朝鮮半島の非核化の行きづまりなど、現在の地政学的な動向は、アジアの危険をさらに深めています。

核兵器廃絶は、アジアとヨーロッパの平和と安全を実現するために不可欠です。

2017年の国連交渉会議で核兵器禁止条約の採択に主導的な役割を果たし、2022年1月に予定されているTPNW締約国会議を準備する主要メンバーの一人であるオーストリアのトーマス・ハイノッチ大使を招いて、禁止条約とその発効の意義を学び、核兵器のない世界・アジアとヨーロッパの平和と安全を実現するための次のステップの運動や行動について議論します。

**今月の草花**



撮影：柳岡(近所で)

**水芭蕉(ミズバショウ)** サトイモ科

水芭蕉は、例年なら5月頃が見頃ですが、今年は桜の開花を始め、全般に開花が早まっています。生け花に使われるカラーと同じように、白い部分は花に見えますが苞(ホウ)と呼ばれ、葉の変化したもの。実際の花は、真ん中の円柱状の花序に細かくびっしりついている塊です。

湿地を好み、養分が多すぎると大きくなり過ぎて可憐さが欠けてしまいます。寒さには強いのですが、夏の暑さは苦手なようです。

**花言葉**  
美しい思い出  
変わらぬ美しさ

**俳句**  
水芭蕉 子らに木道 弾みけり  
あれが釈迦 あれが仏弟子 上田恵美子

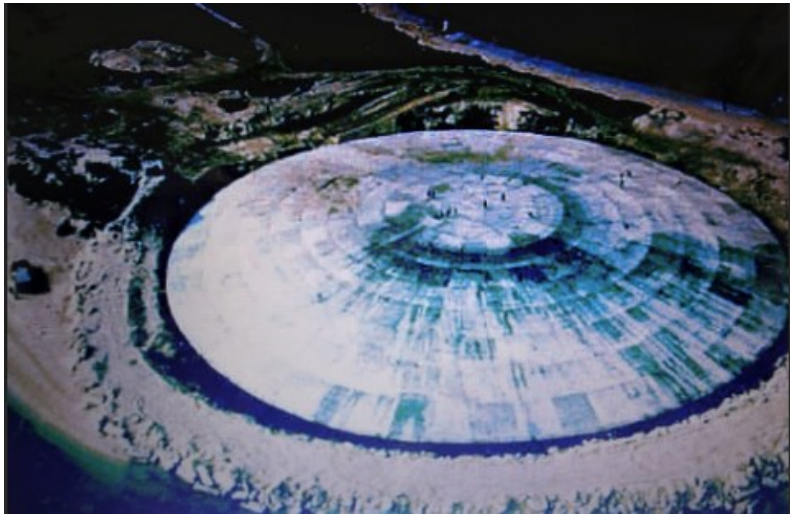
水芭蕉  
鷹羽狩行  
(柳)

## 豆知識【温暖化の影響はここにも 放射にお汚染の恐れ！】

エニウェトク環礁とは、中部太平洋、マーシャル諸島にある環礁。

円周80kmのラグーンとその周囲のおよその島からなり、島の面積は合計6km<sup>2</sup>以下である。ラリック列島で2番目に西にある環礁で北緯11度30分、東経162度20分に位置する。そのなかに「ルニット島」があり、アメリカの核実験で出た放射性物質プルトニウム239という、地上で最も有害といわれる物質が閉じ込めてある。

現在、「核の棺」と言われる暑さ45cmのコンクリートで固めたドームにひび割れが確認され、海中に汚染物質が漏れ出している。



今後、温暖化により水位がますます上昇、非常に心配です。

## 書籍紹介

### 「デンマークの女性が輝いているわけ」(大月書店)

はたらくことと子育てがフツーに両立できる国がある  
澤渡夏代プラント・小島ブンゴード孝子共著

### グローバル・ジェンダーギャップ指数に愕然

世界経済フォーラムが毎年発表している「グローバル・ジェンダーギャップ指数」は、2006年から調査を始めました。調査項目は「経済参画」「教育達成」「健康・生存」「政治参画」であり、これらの項目のそれぞれを順位付けし、トータル評価として「グローバル指数」を出しています。年々対象国が増え、2020年は156カ国中120位です。これでも、前年から順位が1つ上がりました。

※ 各項目の日本の順位は、ちなみに「経済参画」115位、「教育達成」91位、「健康・生存」40位、「政治参画」144位です。4項目を合わせた順位が120位となります。1位はデンマークで、上位は北欧諸国が占めています。



## ジェンダー観点で核軍縮を

「市民とジェンダーの核軍縮」(川田忠明著)より

広島に投下された原子爆弾は「リトル・ボーイ」であり、長崎は「ファットマン」でした。どちらも「男性」であったことは偶然ではありません。

ヘレン・カルディコット氏は、核兵器をジェンダーの観点から論じた先駆者の一人です。オーストラリアの医師で、作家でもある彼女は、米ソ核軍拡競争が激化した80年代に、反核運動と女性の参加に重要な役割を果たしました。米国に渡った彼女は1978年から「社会的責任を果たすための医師団」(PSR)の議長を務め、1970年から「開店休業」状態にあった組織の再建を果たします。この団体は、医師の立場から反核運動の発展に重要な貢献を果たし、1985年にはこの団体が創設に尽力した核戦争防止国際医師会議(IPPNW)がノーベル平和賞を受賞しました。また彼女は1982年、アメリカで「核軍縮のための女性の行動」(WAND)を設立しました。これは、核兵器廃絶のためには「女性から行動しなければならない」という信念に基づくものでした。

カルディコット氏は、小児科医学の観点から、放射線がもたらす女性や子どもへの影響について研究し、警鐘を鳴らしてきました。その著書《ミサイル羨望：軍拡競争と核戦争》(1984年)では、核軍拡競争の中で巨大な各線力を羨ましく思うような、男性の言葉や感情がみられると指摘し、それが男性主義に根ざすものであることを明らかにしました。力への依存をジェンダー観点から明らかにした彼女の論文は、その後の女性運動や研究者たちに大きな影響を与えました。

## 2001年原水禁世界大会・平和行進県南実行委員会開催

実行委員会開催及び予定

第一回 3月15日(月)、第二回 5月17日(月)  
第三回 6月14日(月)、第四回 8月23日(月)

事務局：小滝豊美

副実行委員長：土浦平和の会 近藤輝男

事務局長：学園原水禁実行委員会 又川速雄

：学研労協 小滝豊美

※ 水戸ブロック会議は3月29日開き、鹿行平和の会は4月8日、実行委員会を開きます。まだ開催の予定のないところは4月18日までに開催ください。



## 編集後記

コロナの変異株が、じわじわと増殖して、全国各地のイベントや学校行事の中止が広がっており、国内世論も、圧倒的多数が中止・または延期を求めています。この一年政府の対策は常に後手に回っており、「自助」を強調するしか脳がないのでしよう。

しかしこんな中でも政府は「復興五輪」と銘打ち開催に固執。とりわけ馬鹿げているのは聖火リレーです。ギリシャから運ばれた「聖火」は強風に煽られ、石巻で種火も消えてしまった(´・ω・)という話も。裏に隠れて、ライターで点けたのかな。

米国の大スポンサーNBCもコロナの蔓延を心配し「今すぐ聖火リレーを止めるべき」と言っています。リレーの主役はランナーでなく、明らかに4スポンサーです。これで「聖なる火」と言えるのでしょうか。

発端は「原発事故の汚染水は完全にアンダー・コントロールされている」と、前首相のウソでした。ここまで来たら居直りしかないか。「原発の再稼働と被災者切り捨て」の態度は、ヒバクシャについても同様です。